

編集発行責任者 伊藤 洋

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111(代表)

URL:<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/>

INDEX

01. 着任のご挨拶 五味美春(看護部)/長谷川英雄(薬剤部)
02. 糖尿病集団指導のご案内
03. 食中毒の季節です.FAX予約について
04. 平成24年度初期臨床研修医のご紹介

着任のご挨拶

看護部



部長 五味 美春

平成24年4月から葛飾医療センターの看護部長に着任いたしました。学生時代も含めずっと慈恵で育ってきましたが、青戸に足を運んだのは数えるほどでした。この度リニューアルされた葛飾医療センターで勤務できることになり大変嬉しく思っています。

葛飾医療センターは「地域と共生し進化・創造し続ける病院」をテーマにさまざまな取り組みをしてきました。看護部では数年前から「PFM:Patient Flow Management」システムの構築に取り組み、外来—入院—退院(在宅)・転院をシームレスにつなぐ看護を目指してきました。新病院には「入退院・医療連携センター」が新たにできましたので、ここをPFMの中心として、関連する職種が横断的に連携するシステムが整いました。今後はこのPFMシステムの精度を高め「葛飾医療センターに掛かって良かった」と評価されるような「つなぐ看護」を実践して行きたいと考えています。またPFMを根底で支えるのは病診連携や看看連携といった地域とのつながりです。地域の皆様におかれましては今後とも変わらぬご支援を賜りたくよろしくお願いいたします。

薬剤部



課長 長谷川 英雄

平成24年4月、約9年ぶりに青戸の地に戻り、新生した葛飾医療センターの薬剤部に着任いたしました。病院はすっかり新しく最先端のものとなりましたが、青砥駅からの街並みや、中川を取り巻く風景は変わることなく、懐かしい思いに溢れながら毎日を過ごしております。薬剤部では、内服・外用薬や注射薬の処方箋による調剤を始めとし、無菌的な注射薬の混合や、病棟での薬の説明、患者さんごとの薬の飲み合わせのチェック、院内に配置している薬の管理など、医薬品に関わる様々な業務に取り組むとともに、感染制御、栄養サポート、緩和ケアなどのチーム医療においても、薬に関する専門性が発揮できるよう積極的に参画しております。新病院においては、新たに導入された電子カルテシステムに薬剤支援システムを連動させ、薬剤師の目にITの目も加えることで、24時間365日、より安全な薬物治療を支援してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

糖尿病集団指導のご案内

糖

尿病患者さんやご家族の方が糖尿病についての理解を深め、病気をより良くコントロールして有意義な人生が送れるように、平成24年4月17日より糖尿病集団指導を開催しております。糖尿病に対する基礎知識や食事療法、日常生活管理などを学べるように計画しましたので、お気軽にご参加下さい。

開催日時 毎週火曜日～土曜日 14:00～15:00
(祝祭日の場合はお休みです)

会場 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
5階 会議室

対象 糖尿病の患者さん及びご家族の方
(入院患者さんだけでなく、外来の方も参加できます)

内容



曜日	担当	内容・テーマ
火曜	医師	糖尿病について「糖尿病ってどんな病気？」
水曜	薬剤部	薬について「糖尿病の内服薬・インスリンについて」 ～インスリンはずっとやらないといけない？～
木曜	臨床検査技師	検査値について「検査値から分かるあなたの身体」
金曜	栄養士	食事について「バランスのよい食事とは？」
土曜	看護師	フットケア・災害時の対策について 「いつまでもあなたの足を守る方法」

参加申し込み・お問い合わせ先

東京慈恵会医科大学葛飾医療センター

主治医または医療スタッフにご相談下さい。
糖尿病専門外来受診後、参加予約が可能となります。

(栄養部 管理栄養士 黒川 香奈子)



食中毒の季節です

栄養部 林進(葛飾区食品衛生推進員)

7月から9月は食中毒蔓延の季節です。食中毒予防の3原則は

① 食中毒菌を付けない

② 食中毒菌を増やさない

③ 食中毒菌をやっつける

この3つを守ることにより食中毒を防止することが可能です。



① 食中毒菌を付けない

菌を付けないということは、手洗いが基本となります。特に指と指の間や、親指・手首などは洗い不足が目立ちますので、1回に30秒以上をかけてしっかり洗いましょう。調理器具もしっかり洗いましょう。包丁やまな板は、肉や魚を使った後は、特にしっかり洗いましょう。また、生の肉や魚などを冷蔵庫で保存する時は、袋や容器に入れて他の食品に肉汁が付かないようにしましょう。

② 食中毒菌を増やさない

細菌は時間とともに2分裂しながら増えていきます。1つの菌が2つに、更に4つにと倍々増えていきます。腸炎ピブリオなどは室温状態では10分で2倍に増殖します。最初菌が1つだったとしても10分で2つ、20分では4つに増えて2時間が経過すると4,000に増えてしまいます。まさにねずみ算式に増えていくわけです。時間の経過が大きなポイントとなりますので、買ってきたお惣菜や、調理後の料理は速やかに食べていただき、常温で長く放置しないようにしましょう。

③ 食中毒菌をやっつける

加熱できる食品は十分に加熱し、殺菌しましょう。夏場に多いカンピロバクターによる食中毒は、ほとんどが加熱不足により発生します。肉などの生焼けを食べないようにして、必ず中まで火が通っているか確認してから食べましょう。食品の中心温度が75℃で1分以上加熱することが基本です。ご家庭では、煮物やカレー・シチューなどは、多めに作り2日間ほど食べることがありますが、必ず温め直してから食べるようにしてください。特にとろみのあるカレーやシチューなどは、火にかけてグツグツ言い出しても、なべ底が熱くなっているだけで、上の部分は加熱されていません。かき混ぜながら十分に加熱してください。沸騰してからも5～10分程度加熱し続けないと、ジャガイモなどのように比較的大きく切つてあるものは、中心部分が75℃以上になりませんので、十分な加熱を心がけてください。

以上、3点、①食中毒菌を付けない ②食中毒菌を増やさない ③食中毒菌をやっつけるを守り食中毒を防止しましょう。

FAX予約について

当医療センターでは、紹介元医療機関様からのFAXによる『一般診療予約』『画像診断部検査予約(CT・MRI・骨塩定量)』『中央検査部生理検査予約(心電図・脳波検査・ホルター心電図・心臓超音波)』を行っております。初診の方でも診療日の予約が可能で、患者さんの待ち時間が通常来院されるより短縮できます。当医療センターFAX予約専用紙に必要事項をご記載の上、FAXにてお申込みいただき入退院・医療連携センターで日程調整を行った後、FAXで予約票をご送付致します。尚、診療情報提供書(患者紹介状)・FAX予約専用紙をご用意しておりますので、当医療センターホームページよりダウンロードしていただくか、ご連絡をいただければ郵送させていただきます。

FAX予約による 注意事項

- ・患者さん個人が直接FAXにて予約をとることはできませんので、ご了承ください。
- ・電話でのご予約は承っておりませんので、予めご了承ください。
- ・患者さんが受診される前にカルテ・診察券の作成を行っております。
- FAX予約の際に、患者さんの保険情報をご記入いただきますよう、ご協力お願い申し上げます。
- ・診療の都合上、ご記載いただいた受診希望日に沿えない場合がございます。
- ・FAX予約受付時間:平日 8:45～19:00 土曜 8:45～17:30
- ただし、病院休診日(日曜日・祝祭日・5月1日・10月15日・12月30日～1月4日)を除く

[平成24年度]初期臨床研修医のご紹介

4

月より平成24年度初期臨床研修医6名が新たに葛飾医療センターに入りました。
2年間の研修期間にて、多くのことを吸収し、未来の慈恵大学を担う医師を目指して頑張ります。

群馬県高崎市出身です。
青戸は落ち着きます。
日々頑張ります。 佐藤

とってもキレイな病院です。
フレッシュな気持ちで
頑張ってます。 勅使川原

福島県立医大卒、埼玉県
出身。新しい環境に早く
慣れていきたいです。 栗山

公私ともに最高の研修生活を
送れるよう頑張ります。

野田

社会人として、少しでも社会の
ためになれるよう頑張ります。

小林

新しくなった病院で、2年間
研修させて頂きます。
一生懸命頑張ります。
よろしくお願ひします。 黒田

編集後記

当医療センターも開院してから、半年が過ぎ院内も落ち着いてきたところでありますが、まだまだ、皆様にはご不便をお掛けしていることもあろうかと存じます。

さて、この度、当センターニュースの編集担当が変わりまして、最初の発刊となりました。不備などご容赦願ひまして、今後も紙面を借りて皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願ひ申し上げます。